

# 認知症短期集中リハビリテーションのご案内

認知症のリハビリは認知能力の維持だけではなく、楽しみをつくり笑顔を生み出す効果もあります。リハビリをすることで生活に楽しみをすることが、活動意欲の向上にもつながります。



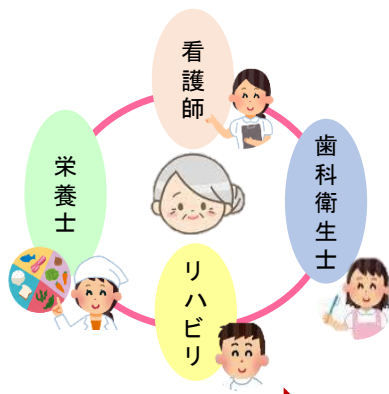
## 認知症短期集中リハビリテーションとは？

(対象：施設に入所され認知機能の低下が認められた方)

認知機能が衰えた場合に、認知機能を維持していくためには専門職の実施するリハビリテーションが有効になります。そこで、施設入所日から3ヵ月、週に3回を限度としてリハビリ専門職（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）が個別にひとりひとりに合わせたリハビリを20分以上実施するサービスです。

## 効果があった方の一例

- ・食事を口から食べる事が可能だが、食欲がなく、鼻からのチューブで食事をとっていた。
- ・几帳面な性格で、他の入所者との関係により不眠になることもあった。



- ・記憶の訓練(学習療法)
- ・日常生活活動の訓練  
(※裏面メニュー参照)

- ・自ら食事を摂取できるようになった♪
- ・趣味の手芸や編み物を披露できるようになった♪
- ・他の入所者の方々とも談笑され、眠れるようになった♪



## 認知症短期集中リハビリテーションの効果

- ☑ 関心や意欲の向上
- ☑ 認知症の進行予防
- ☑ 会話や人との交流の改善
- ☑ 身の回りの事が少しできるようになった



## 白十字会の取り組み



白十字会では、利用者さんに対して、認知症の方とのコミュニケーション技法「ユマニチュード®」(※)を、全職員で実践しています！

(※) ユマニチュードとは・・・

「見る・話す・触れる・立つ」などの技法を用いて、「私はあなたの事を大切に思っています」というメッセージを、言葉・表情・態度などで心地よい刺激を伝え続け、人と人とのつながりを深めていく技法です。(創始者：1995年 イブ・ジネット、ロゼット・マルコッティ)

笑顔が見れて、私も嬉しいです。

見る

触れる

話す



☑ ひとりひとりに応じた頭の体操や運動療法を行うことで、認知機能の低下を予防し、進行を遅らせることにも繋がります。担当セラピストと一緒に、入所されている方に合わせたメニューを考え、リハビリを行います。

## くもんの「学習療法」

人間は人から誉められたり、認められた言葉がけをされると一瞬で脳は活性化します。また、目的をもって手や指を使う行為でも高い活性度合が得られます。これら科学的に分かっていることを組み合わせ、読み書きや簡単な計算等をおこない、脳機能維持や改善、さらには認知症予防に用いるやり方を「学習療法」と言います。



## 回想法

認知症の方は、最近のことは思い出せなくても、昔の記憶はしっかりと覚えていることが少なくありません。昔の思い出を思い出し、語り合うことは、精神面を安定させる他、認知症の予防や改善にも効果があるといわれています。



## 認知機能を高める リハビリメニュー

### 趣味などの活動

好きな趣味の活動を試してみたりするなど、本人の能力や好みに合わせた作業を行います。指先や体を動かすことは脳への刺激となり、認知症の抑制に効果があるといわれています。



### 日常生活動作訓練

「ご飯を食べる」「トイレに行く」など生活する上で必要な動作を日常生活動作といいます。日常生活動作訓練では、日常生活で必要な能力を向上させる訓練を行い、利用者さん自身の力を引き出します。体を動かす事で、認知症予防にも繋がると言われています。

- (例) ・居室内から食堂まで移動する歩行練習  
 ・食事を口に運ぶ練習  
 ・整容動作(はみがき等)の練習



## (社会医療法人財団 白十字会 取り組み事業所)

### ➤ 介護老人保健施設 長寿苑

〒857-1151 佐世保市日宇町2835番地

☎0956-32-3800

### ➤ 介護老人保健施設 サン

〒857-1165 佐世保市大和町30番地

☎0956-33-7771

### ➤ 介護老人保健施設 さざ・煌きの里

〒857-0337 長崎県北松浦郡佐々町八口免805-2

☎0956-41-1122